

# 平成28年 新年のご挨拶



揖斐川町長

宗 宮 孝 生

輝かしい新春を迎え、本年も町民の皆様にとって良い一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年は、合併10周年を迎えた揖斐川町にとって記念すべき年となりました。

揖斐川町谷汲で皇太子殿下をお迎えして「第39回全国育樹祭」が盛大に開催され、全国から多くの方にお越しいただきました。開催にあたって、町民の皆様には長期間にわたる大変なご尽力をいただき、思い出深い素晴らしい行事となりましたことを、心よりお礼申し上げます。式典での殿下のお言葉にありましたように、森を育て、次世代へ引き継いでいく活動を、ぜひ揖斐川町から発信してまいりたいと、気持ちを新たにしております。

この育樹祭を契機として、私たち

のまちの財産である森林の価値を再認識し、後世へ引き継いでいく意識込みとともに、「揖斐川町ふるさと森づくり条例」を昨年9月に制定いたしました。新たな森づくりの基本理念として、的確な森林整備、木材資源の循環利用、地域や企業が一体となった森林づくり、森づくりを支える人づくりを掲げ、町・事業者・町民がそれぞれに役割を担っていくこととしております。ぜひふるさとの健全な森づくり推進にご協力をお願いいたします。

さて今年、町の最上位計画である「揖斐川町第2次総合計画」が始まる最初の年度となります。計画審議会や町議会ははじめ幅広い町民の皆様にご助言いただき、議論を重ねながら、計画を策定してまいりました。

今後10年間のこの計画が目指すま

ちの将来像を「自然健康のまち いびがわ」としております。揖斐川町に暮らす私たち一人ひとりが、地域の課題解決に向けてそれぞれの立場から知恵を出し、ともに考え、支え合い、自然とともに健康で幸せに暮らせるまちをみんなで創っていくことを目指します。

現在、人口減少問題をいかに克服するかが全国的な課題となっております。当町においても例外ではありませんが、揖斐川町は地域資源に恵まれ、心あたたい人々が暮らす魅力あるまちであると、私は自負しております。悲観することなく大胆な政策を実施し、魅力に磨きをかけたいと考えております。

第2次総合計画の中に位置付けておりますが、特に若い世代の皆様にも「揖斐川町にずっと住みたい、こ

こで子育てしたい」と思っていただけけるよう、子どもたちが森林に親しみ、学び、たくましく育つ「森のようちえん」事業、子どもからお年寄りまでが地域の自然環境をフィールドとして、ふれあいながら多様な活動を展開する「森のこうみんかん」事業、揖斐川町に定住するための大規模な経済支援制度である「0円宅地」事業の新設に向け、現在準備を進めております。

計画の基本目標として「都市基盤・生活基盤」「健康・福祉・医療」「教育・文化・交流」「観光・産業振興」の4つを置き、合併後の各取り組みを引き継ぎながらも、時代に合った新しい事業や課題に対する対応策を加えました。これまで重点的に取り組んできた、子育てしやすい環境づくり、安全・安心なまちづくりや防

災対策の推進、道路ネットワークの充実、観光拠点の再整備、公共交通施策の再検討、各産業が連携した地域経済の活性化なども継続してまいります。

こうした施策を着実に実施し、施策間の相乗効果を高めて地域創生に好循環が生まれるよう、効果的に取り組むことが重要です。少子高齢化

に伴う我が国全体の経済縮小で税収の伸びは期待できず、また合併後一定期間が経過したことで町の財政面における特例措置が縮減する一方、行政需要はますます多様化・高度化しており、一層効率的で質の高い行財政運営が求められています。こうした視点からも、町政にとっては住民の皆様との「協働」が不可欠とな

っております。ぜひ、ともに考え知恵を出し合い、「自然健康のまちなびがわ」を築きましょう！  
どうか本年も、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



揖斐川町議会議長

## 林 幹 夫

新年あけましておめでとございます。

町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

日頃は、町議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜りますこと厚くお礼申し上げます。

つきましては、昨年10月に皇太子殿下をお迎えし、谷汲で開催されました「第39回全国育樹祭」には、式

典や治道での奉送迎など多くの町民の皆様にご参加をさせていただきました。お陰さまで、素晴らしい育樹祭となり、合併10周年にふさわしい記憶に残る行事となりましたこと改めて、皆様にお礼を申し上げます。

揖斐川町におきましては、次の10年間のまちづくりの指針となる「第二次総合計画」を昨年末に策定をしております。急速に進んでいる人口減少そして少子高齢化の中で、揖斐

川町が持つ地域資源や魅力を最大限に活用しながら、町民と行政が一体となって協働して進めていくものであり、本年度がスタートの年であります。

当町を取り巻く環境は、人口減に伴う人口構成の変化に加え、国からの合併支援が段階的に削減されるなど、これまで以上に危機感をもった財政運営が一層求められています。

また、地震や想定外の自然災害に加え、原子力災害に対する備えも重要であり、災害に強いまちづくりの推進が喫緊の課題でもあります。

町の将来像である「自然健康のまちなびがわ」の実現には、町民の皆様総ぐるみの取り組みが必要不可欠であります。それぞれの地域、立

場で、揖斐川町に住みたい、住んでよかったと思うようなまちづくりに変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私も議会に課せられた使命を皆様からの声を的確に町政に反映させることと認識し、より開かれた議会、活性化した議会をめざして、特別委員会を設置し、協議を重ねているところでございますが、今後とも町議会に対しまして一層のご支援、ご協力を賜りますよう議員一同お願い申し上げます。

新年を迎えて、町民の皆様にとりまして幸せ多い年でありますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。